

# さつき SATSUKI

第40号  
平成23年1月

発行  
社会福祉法人  
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地  
TEL (0848) 37-7272  
FAX (0848) 37-9610  
http://www.satukikai.com

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町) TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町) TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町) TEL (0848) 44-6460
- 尾道福祉専門学校 (久保町) TEL (0848) 37-2222
- 尾道さつき作業所 (久山田町) TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町) TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御調町) TEL (0848) 77-1122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町) TEL (0848) 29-5002

今日を楽しく!  
明日を元気に!

## デイサービス しまの風

しまの風 下見 素之



▼しまの風のスタッフ全員集合

がマシンを使用して運動を行っています。土曜日は県立広島大学理学療法士の小野教授の指導で、個別のアドバイスももらっています。

**食事**：一週間に1〜2回くらいの昼食なら、おいしく食べてもらいたいので、治療食は用意せず、おいしく暖かい食事を提供しています。配膳や片付けは、職員と利用者さんみんなでやっていきます。男性利用者さんもやっています。わねながら、ご飯をよそったりしています。

おいしい食事は、利用者さんだけでなく、職員もとても楽しみにしています。



▲趣味活動の麻雀の時間「若い者には負けられません」



▲たくさん働いた身体をマッサージ。嬉しい癒しの時

何をやっても利用者さんの方が一枚上手です。職員にとっても毎日が勉強の日々です。

2ヶ月がたち、デイサービスは、元気の笑顔と笑い声が溢れています。

デイサービスは、元気な人が行って、楽しく活動できるデイサービスがあまり無いという話をよく耳にします。そこで、他の事業所と少し違った特徴のあるデイサービスを造りました。

運動・食事・癒し・趣味活動に力を入れたサービスを行っています。

**運動**：パワーリハビリマシンを設置して、利用者さんのほぼ全員が、元気な人が行って、楽しく活動できるデイサービスがあまり無いという話をよく耳にします。そこで、他の事業所と少し違った特徴のあるデイサービスを造りました。

**癒し**：ウォーターベッド型リラクゼーション器は大変好評を得ています。火曜日と金曜日の午後から2時間、整体師によるマッサージも行っています。もちろん無料サービスで、これも大好評です。上がらなかつた腕が、一回のマッサージで上がるようになった方もいて、本人も職員もみんなびっくりしました。



▲体力作り。継続の秘訣は皆で楽しく行うこと

## 成年後見制度

って、なあに?

星の里  
山口 いずみ



みなさん、将来「認知症」などにより判断能力が低下した場合、どのようなことが不安でしょうか。

「どうせ判らないだろう」と悪徳商法の被害に遭ったり、適切な財産管理ができなかったり…。成年後見制度はこのような「判断能力が不十分になった方」の代わりに、裁判所で選任された成年後見人等が、ご本人の利益を考え、契約等の法律行為や各種申請の手続き、また財産の管理などを行えるようにする制度です。

☆どのような人が対象? ↓認知症や知的障害、精神障害等で判断能力が不十分な方。

☆どういったことが可能? ↓ご本人の身上監護(身のまわりの世話のために、介護サービスや施設入所等に関する検討や契約を行うなど)や財産管理。

☆手続きは? ↓本人・配偶者・4親等内の親族・市町村長等が、本人の居住する裁判所に申し立てる。本人が判断能力のある間に、頼む内容と頼む人を決めておく「任意後見」という制度もある。

☆誰が成年後見人等になれる? ↓親族のほか、弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家。

☆相談先は? ↓市内にある各地域包括支援センターに相談窓口あり。

成年後見制度は介護保険制度(2000年4月)と同時に始まりました。しかしまだ十分に知られていません。まずはこのような制度があることを知っていただければと思います。

## 尾道さつき会のイクメン誕生



尾道さつき会では、仕事と育児の両立支援をしています。

2010年6月に施行された「改正育児・介護休業法」で、両親がともに育児休業を取得できる「パパ・ママ育児ブラス」が新設され、男性の育児休業が取りやすくなりました。

さつき会でも「特別養護老人ホーム星の里」の職員が改正後、男性として初の育児休業を取得しました(法人としては2人目)。

職員に感想を聞いてみたところ、「妻の育児負担が軽減でき、家族3人での貴重な時間が過ごせました。また、オムツ替えや入浴など協力してできたことを、妻も大変喜んでくれました。上司や同僚のおかげで職場への復帰も不安はありませんでした」と話してくれました。

急速に進む少子高齢化社会に備えて、子育てや介護がしやすい環境づくりが国の施策として進んでいます。尾道さつき会でも仕事と家庭を両立でき、魅力ある職場の実現にさらに取り組んでいます。

### 編集後記

利用したい事業所や支援の内容を利用者さんご自身が選ぶ時代です。一枚の年賀状、就労の支援、手作りのパズル、いずれも目の前におられる利用者さんを大事にしたいという思いの中で生まれてきたものです。2011年も特色ある事業所づくりに努めていきたいと思っております。

(T・S)

### 寄付者一覧

(二〇一〇年八月〜十一月・順不同、敬称略)

〈寄付金〉古川徹、廣谷毅、鼻孝子、芦田孝子、西山美智子、村上マツエ、廣谷環、渡邊秀城、土屋潔子、佐藤廣士、井上洋、杉谷就俊、さつき作業所保護者会、梶山小児科医院、すだちの家保護者会、永正寺、匿名者1名、池田敏子、水戸川賢造、山根智恵子、松浦真英

〈寄付物品〉富永泰之、澤村多世子、須田稔、江口正司

## ご案内 どんぐり工房作品展

場所 尾道人権文化センター  
尾道市防地町26-24

日時 2011年2月10日(木)〜3月3日(木)  
(8:30~17:15 休館日/土日祝日)

展示物 絵画作品、その他

入場無料

利用者さんの思いがたくさんつまった作品でいっぱいです。是非ご覧ください。



▲届け！この気持ち

今津野の家 谷 頼 誕  
高年齢になると、今まで簡単にできていた事が出来なくなったり、自分の気持ちを相手に伝えることが難しくなります。私達職員は、そのような場合に、ご家族に思いを伝えるにはどうしたらいいか考えました。そこで思いついたのが年賀状作りです。

Aさんは最初、職員が誘っても、机に伏せて書こうとされませんでした。それでも、一緒に少しずつ取り組んでいるうちに筆を持つてすらすらと書かれる様になりました。その姿は若い頃のAさんを想像させる様ななかなか格好よかったです。「奥様はきつと喜びますよ」と伝えたとこ、何度もうなずいていました。奥様に年賀状を届けると「なんか涙が出る。嬉しい」と喜んでおられました。

普段みられない利用者さんの姿を、家族と一緒に喜べた年賀状づくりでした。



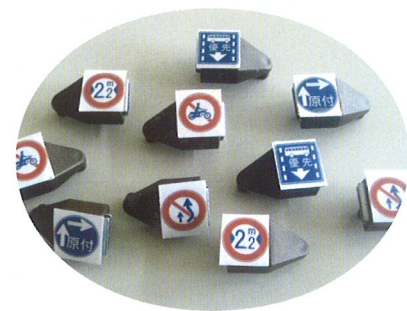
▲奥様に贈った年賀状

## こちら尾道サンホーム通所部です

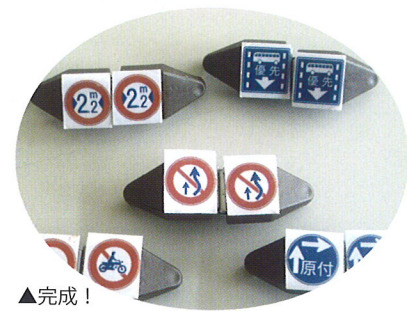
尾道サンホーム 通所部 砂田 智輝

みなさんは尾道サンホームと言えば、障害のある人の暮らしの場、入所施設というイメージが強いかもしれませんが、尾道サンホームには日中だけ通所部があります。通所部では、本人の興味や関心を探り、特技を生かした活動を取り入れています。例えば「バスマグネットパズル」です。バスのことなら何でも知っていると言う利用者さんに、職員手作りのマグネットパズルを楽しんでもらいます。本人が楽しいと感じることで、持続が難しかった利用者さんも、集中して一定の時間活動が行えるようになり、自信と達成感が繋がっています。また、入所部との一体的な運営のなかで、1人ひとりの希望にあった日中の活動を提供しています。

### 特技生かし パズル



▲交通標識に挑戦



▲完成！

サンホーム通所部では、利用者さんの支援も身体介助や健康面と幅広く、自然と保護者との連携も密度の濃いものになってきます。利用者さん個人だけを見るのではなく、家庭を含めた全体を支援していくことが大切であると考えています。現在、サンホーム玄関前に生活介護室を建設中で、来年度から入浴のサービスを開始する予定にしています。これからの利用者さん一人ひとりの個性を大切に支援を行ってまいります。

そういう活動の中で、今まで見えなかった、利用者さんの才能を発見することができ、少数のグループの中で、利用者さんと職員が密接に関わることが出来るようになります。



▼数が多くてもおてのもの

## ～就労支援への取り組み～

### 企業と障害者施設

▼職場実習で説明をうける利用者さん



尾道さつき会の障害者施設では、一般企業への就職をめざしている利用者さんに就労支援を行っています。今年度はワークスさつき1名、すだちの家1名、むかいしま作業所1名と計3名が就職し、現在も2名の方がトライアル雇用\*で頑張っています。ここで、就職に至るまでの取り組みを紹介します。まずは、尾道市地域自立支援協議会の就労支援部会が主催する障害者職場体験を活用します。今回は応募者14名中10名がさつき会の利用者さんで、各企業での体験実習を行った方からは、「とてもよい経験になった」「就職への気持ちが強くなった」などの感想が聞かれました。また、企業側からも「あいさつや返事をきちんとされ、従業員の刺激になった」「日頃、施設で訓練を受けていることが感じられる」と職員にとっても嬉しい評価をいただきました。

また、各施設では積極的に企業内授産\*\*を展開しています。企業内での作業は、従業員とのコミュニケーションの機会も多く、施設と全く違う環境のため緊張感が維持できます。さらに、尾道さつき会では法人内に障害者職業センターに所属するジョブコーチ\*\*の配置があり、トライアル雇用中も企業との連携や課題への対応がスピーディーで信頼関係の構築に繋がっています。障害者施設から企業への就職、昨今の就職難の逆風に尾道さつき会は正面から立ち向かっています。



▲就職先で頑張る利用者さん

むかいしま作業所 橋本 法之

- ※1 トライアル雇用：ハローワークの紹介により、障害者を原則3ヶ月間、試行的に雇用する制度。
- ※2 企業内授産：企業内に作業場を設置し、職場に近い環境のなかで企業の作業に従事する仕組み。
- ※3 ジョブコーチ：障害者が円滑に就労できるように、障害者本人・雇用主・家族への支援を行う人。

## 「生活・介護サポーター」養成研修始まる

尾道福祉専門学校 民安 和宏

尾道福祉専門学校では尾道市からの委託を受け、昨年10月21日より8回にわたり「生活・介護サポーター」養成研修を実施しています。

この事業のポイントは、目的が養成研修の修了そのものというよりは、地域の助け合い・支え合いの活動に多くの市民の参加を得ることや、地域におけるボランティア活動等の一層の発展を期するというものです。

昨年11月に実施した第2回目の研修では、重りや関節固定用サポーターなどを使って高齢者疑似体験をしました。参加者からは「高齢者の不安感や負担を理解することができ、今後の言葉かけが変わると思う」などの感想があり、高齢者の生活のしにくさ等が理解してもらえたのではないかと思います。



▲階段昇降の難しさを疑似体験する受講者たち

この研修を受講された方々が地域のなかで、高齢者の生活を支えるための見守り活動等に関わっていただけることを期待しています。

## 新任職員紹介

しまの風 生活相談員 渡邊 亜弥



●福祉の仕事をするきっかけは？  
子供のころからお節介で自分のことも一人前に出来ないのに、人の世話をしたい子供でした。そのまま大きくなってしまったのが、人と関わることや、人を喜ばせることが大好きです。そして、20代でスイミングスクールのインストラクターをしていた時に、自閉症や障害のある子供たちを担当し、福祉というものに関心を持ったことが仕事を始めるきっかけとなりました。

●趣味 好きな食べ物  
癒し癒されることが趣味です。趣味がこうじて、タイ古式マッサージとオイルマッサージの認定資格をとっちゃいました。好きな食べ物一番はなんと言っても「うどん」！！  
コシの強い讃岐うどんと、カラッと揚がったかきあげが大好きです。毎日でもOKです。